

衆院で瀧本日教組委員長 免許更新制 に代わる研修などで現場の懸念訴え

4月1日の衆議院文部科学委員会で、瀧本司・日教組中央執行委員長が参考人として出席、教員免許制度に代わる研修体制などについて、意見を述べました。

新たな制度では、研修記録の義務づけが行われることにされていますが、そもそも、現場教員は新たに研修を付加すべき時間的体力的余裕を奪われていることを訴えました。さらに、現状でも恒常的に研修が行われていながら、さらなる研修強化が行われるのではないかという現場からの懸念を表明しま

した。まずは週の授業持ち時間数の上限規制などに始まり、給特法の廃止に至る学校の働き方改革こそ急ぐべきであることを強調しました。

※古賀ちかげの国会ウォッチ

(月間JTU5月号より)